

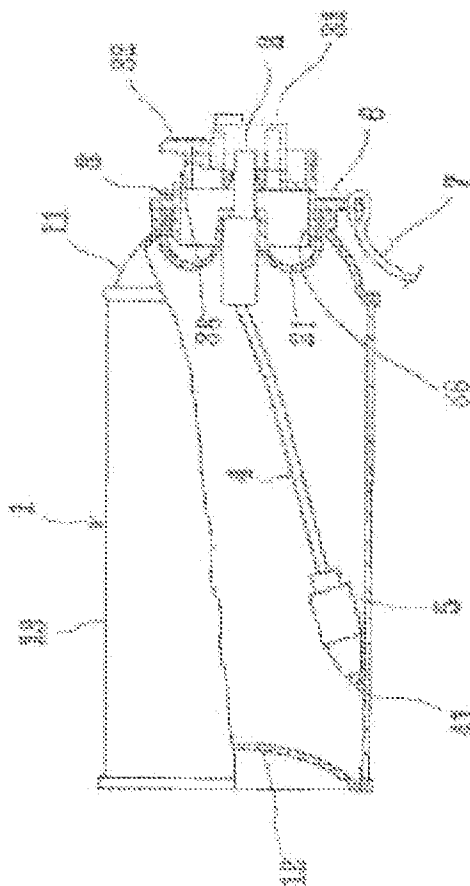
## Bibliographic data: JP 2000355382 (A)

### SPRAY-CANNED INSECTICIDE

Publication date: 2000-12-26  
 Inventor(s): KUTSUNA FUJIO +  
 Applicant(s): KUTSUNA FUJIO +  
 Classification: - International: B05B9/04; B05D83/14; B05D83/16; B05D83/40; (IPC1-7): B05B9/04; B05D83/40  
 - European: B05D83/14H; B05D83/16B1C  
 Application number: JP19990163965 19990610  
 Priority number (s): JP19990163965 19990610

### Abstract of JP 2000355382 (A)

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a spray-canned insecticide which is used, being thrown into a space under a floor or a restricted or unreachable place for extermination of termites or the like.  
**SOLUTION:** For a spray-canned insecticide wherein a nozzle cover 3 for pressing down a nozzle 2 is mounted on a head part 11, surrounding the nozzle 2, of a spray can 1 filled with an insecticide and wherein with the insecticide is sprayed with a pressing member 31 of the nozzle cover 3 pressed down, a stopper 36 for keeping the pressing member 31 under the state of being pressed down when the nozzle 2 is pressed down with the pressing member 31 is provided at the nozzle cover 3. Furthermore, a string-connecting part 5 is provided either at the nozzle cover 3 or a neck part 11 of the spray can 1 so that a pulling-string 7 can be connected thereto.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-355382  
(P2000-355382A)

(43) 公開日 平成12年12月26日 (2000. 12. 26)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
B 6 5 D 83/40		B 6 5 D 83/14	E 3 E 0 1 4
B 0 5 B 9/04		B 0 5 B 9/04	4 F 0 3 3

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-163965

(22) 出願日 平成11年6月10日 (1999. 6. 10)

(71) 出願人 591274336

姓名 藤 男

愛知県安城市和泉町北本郷175番地 1

(72) 発明者 姓名 藤 男

愛知県安城市和泉町北本郷157番地 1

(74) 代理人 100059096

弁理士 名嶋 明郎 (外 2 名)

F ターム (参考) 3E014 PA01 PB09 PC02 PE12 PE13  
PE14 PE15 PF07

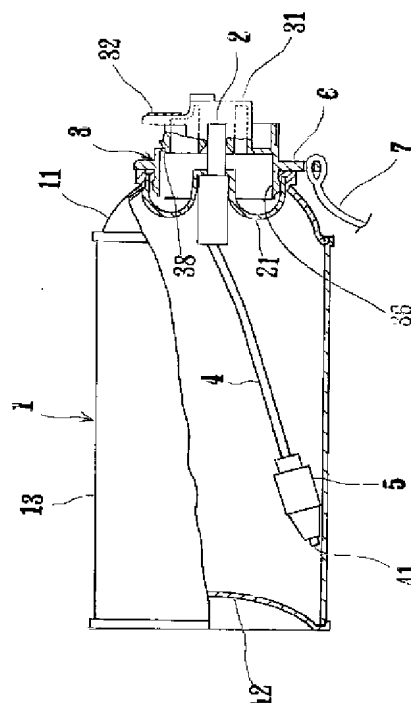
4F033 RA02 RB02 RB05 RC13 RC24

(54) 【発明の名称】 スプレー缶入り殺虫剤

(57) 【要約】

【課題】 床下の白蟻駆除や狭い個所その他手の届かないところに投入して用いるスプレー缶入り殺虫剤を提供すること。

【解決手段】 殺虫剤が充填されているスプレー缶 1 の頭部 11 にノズル 2 を囲んで該ノズル 2 を押圧するノズルカバー 3 を嵌着してこのノズルカバー 3 の押圧子 31 が押圧されるとノズル 2 より殺虫剤がスプレーされるようにしたスプレー缶入り殺虫剤において、ノズルカバー 3 にはその押圧子 31 によりノズル 2 を押圧したとき押圧子 31 を押圧された状態に保持するストッパ 38 を設け、さらに、このノズルカバー 3 とスプレー缶 1 の頭部 11 のいずれかに紐連結部 6 を設けてこれに引き紐 7 を連繋できるようにした。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 殺虫剤が充填されているスプレー缶(1)の頭部(11)にノズル(2)を囲んで該ノズル(2)を押圧子(31)で押圧するノズルカバー(3)を嵌着してこの押圧子(31)が押圧されるとノズル(2)より殺虫剤をスプレーするようにしたスプレー缶入り殺虫剤において、ノズルカバー(3)にはその押圧子(31)でノズル(2)を押圧したとき押圧子(31)を押圧されたままの状態に保持するストッパ(38)が設けられており、さらに、このノズルカバー(3)とスプレー缶(1)の頭部(11)のいずれかには紐連結部(6)が設けられていてこれに引き紐(7)を連繋できるようにしてあることを特徴とするスプレー缶入り殺虫剤。

【請求項2】 ノズル(2)に基部が接続された可撓性吸込管(4)がスプレー缶(1)の内部に設けられており、この可撓性吸込管(4)はこれに付設されている重錘(5)によって吸込口(41)のある先端が常時は缶底(12)に向け垂下されているが、横置きされると湾曲して缶壁(13)に向けられるものとしてある請求項1に記載のスプレー缶入り殺虫剤。

【請求項3】 重錘(5)が先細円筒形状であって、その先端に可撓性吸込管(4)の吸込口(41)を位置させてある請求項2に記載のスプレー缶入り殺虫剤。

【請求項4】 殺虫剤が白蟻駆除剤である請求項1または2または3に記載のスプレー缶入り殺虫剤。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は床下の白蟻駆除や狭い個所その他手の届かないところに投入して用いるスプレー缶入り殺虫剤に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】殺虫剤が充填されているスプレー缶の頭部にノズルを囲んで該ノズルを押圧する押圧片を具備したノズルカバーを嵌着してこの押圧片の押圧操作で手指を汚すことなくノズルより殺虫剤をスプレーするようにしたスプレー缶入り殺虫剤は広く用いられているが、このようなスプレー缶入り殺虫剤はスプレー範囲が限定されるために床下などの狭い個所における殺虫には不向きである。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明が解決しようとするところは、前記のような問題を解決して、従来のこの種のスプレー缶入り殺虫剤として使用できるばかりでなく、床下や狭い個所その他手の届かない個所の殺虫を的確容易に行える安価なスプレー缶入り殺虫剤を提供することにある。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】前記したような課題を解決した本発明に係るスプレー缶入り殺虫剤は、殺虫剤が充填されているスプレー缶の頭部にノズルを囲んで該ノ

ズルを押圧子で押圧するノズルカバーを嵌着してこの押圧子が押圧されるとノズルより殺虫剤をスプレーするようにしたスプレー缶入り殺虫剤において、ノズルカバーにはその押圧子でノズルを押圧したときこの押圧子を押圧されたままの状態に保持するストッパが設けられており、さらに、このノズルカバーとスプレー缶の頭部のいずれかには紐連結部が設けられていてこれに引き紐を連繋できるようにしてあることを特徴とするものを基本構成とする。そして、前記したようなスプレー缶入り殺虫剤において、ノズルに基部が接続された可撓性吸込管がスプレー缶の内部に設けられており、この可撓性吸込管はこれに付設されている重錘によって吸込口のある先端が常時は缶底に向け垂下されているが、横置きされると湾曲して缶壁に向けられるものとしてあるものを請求項2に係る発明とし、また、この発明における重錘が先細円筒状であって、その先端に可撓性吸込管の吸込口を位置させてあるものを請求項3に係る発明とし、さらに、前記した各発明における殺虫剤を白蟻駆除剤としたものを請求項4に係る発明とする。

## 【0005】

【発明の実施の形態】次に、本発明の好ましい実施の形態を図に基づいて詳細に説明する。1は殺虫剤が圧縮ガスとともに充填されている金属性の円筒形状をしたスプレー缶で、その頭部11の開口部には中心孔に押し込みによりスプレー可能なノズル2が装着されている皿状蓋金21が固着されている。3は前記したノズル2を囲むように皿状蓋金21に嵌着されているノズルカバーであって、このノズルカバー3にはノズル2の押圧片32を備えた押圧子31が嵌着されていて、この押圧片32を介して行なわれる押圧子31の押圧操作でノズル2よりスプレー缶1に充填されている殺虫剤がスプレーされる。なお、ノズルカバー3として図示するものは合成樹脂製であって、切欠部33を有する平面C形の周壁34の下端の鍔部35の下面に前記皿状蓋金21の口縁に係脱自在な脚筒部36を連設するとともに、周壁34の内面に屈曲可能な連繋部37を介して前記したキャップ状の押圧子31が連設されていてこの押圧子31より張設されている押圧片32を前記切欠部33より周壁34の外に露呈させたものであり、以上の構成は従来のこの種のスプレー缶入り殺虫剤のノズルカバー3と殆ど変わることはない。

【0006】また、前記したノズルカバー3には押圧片32を介して押圧子31でノズル2を押圧したとき、この押圧子31が押圧された状態に保持されるようにするストッパ38が設けられている。このストッパ38として図示するものは、切欠部33の下縁中央に設けた突片部としてあり、この突片部に前記した押圧子31の胴壁に形成してある突片39に係合させることにより押圧子31がノズル2を押圧している状態に保持され、前記した係合を解くことにより旧状に復帰するように構成され

たものとしている。さらに、ノズルカバー3とスプレー缶1の頭部11のいずれかには引き紐7を連繋させておくための紐連結部6を設けてある。この紐連結部6として図示例ではノズルカバー3に紐連結孔を設けたものとしているが、スプレー缶1の頭部11の開口部に皿状蓋金21を固着するため、頭部11の開口縁に皿状蓋金21の周縁を巻き込みしたとき、その巻き込み端に紐巻付用溝が形成されるようにするなど、引き紐7を連繋できるような構造であれば任意の構造でよい。

【0007】4はスプレー缶1の内部においてノズル2に基部が接続された合成樹脂管などよりなる可撓性吸込管であって、この可撓性吸込管4の先端には先細円筒状の重錘5が付設されていてその先端より吸込口41を露呈させてあり、この吸込口41のある先端は重錘5の自重で常時は缶底21に向け垂下されているが、横置きされると湾曲して缶壁13に向けられるものとしてある。

【0008】このように構成されたものは、スプレー缶1を把持して手指をノズルカバー3の押圧子31の押圧片32にあてがってこれを軽く押せば、ノズル2が押圧子31により押された常時は閉ざされているこのノズル2は開かれてスプレー缶1に充填されている殺虫剤がスプレーされることは従来のスプレー缶入り殺虫剤と同様であるが、ノズルカバー3にはノズル2を押圧している押圧子31をそのままの状態に保持するストッパ38が設けられているので、スプレーが継続される位置までノズル2を前記押圧子31により押圧してこれを前記ストッパ38により押圧状態に保持させておくことにより、以後は手指による押圧操作を続けていなくても連続的に殺虫剤のスプレーを続けることができる。しかも、ノズルカバー3またはスプレー缶1の頭部11には紐連結部6が設けられていてこれに引き紐7を連繋できるようにしてあるから、床下などの狭い場所の殺虫を行いたいときには、紐連結部6に引き紐7を連繋させるとともに前記したような操作により押圧子31をノズル2が開かれて殺虫剤がスプレーされる状態となるようにストッパ38で保持させたい。前記引き紐7の先端を手前に残してスプレー缶1を床下やの狭い場所などに投入すれば、投入された位置でスプレーが続けられるから、適当時間のスプレーを行なって必要な殺虫を行い、殺虫作業終了後は引き紐7を引いてスプレー缶1を回収し、殺虫剤が残っていればストッパ38による押圧片31の保持を解けばよく、床下や狭い個所その他手の届かない個所の殺虫

を的確容易に行うことができるものとなる。

【0009】また、スプレー缶1の内部にノズル2に基部が接続された可撓性吸込管4を設けて、この可撓性吸込管4がこれに付設されている重錘5によって吸込口41のある先端が常時は缶底21に向け垂下されているが、スプレー缶1が横置きされると湾曲して缶壁13に向けられるものとしてあるものは、スプレー缶1が直立して置かれた正常状態であっても横置きされた状態であっても、缶内に残された殺虫剤を的確に吸い込むことができるので経済的であって特に好ましい。

【0010】

【発明の効果】本発明は前記説明によって明らかなように、従来のこの種のスプレー缶入り殺虫剤として使用できるばかりでなく、床下の白蟻駆除や狭い個所などに投入して手の届かない個所の殺虫を的確容易に行うことができるうえに、構造が簡単で安価に提供できる利点がある。従って、本発明は床下の白蟻駆除や狭い個所その他手の届かないところに投入して用いるスプレー缶入り殺虫剤として極めて有用なものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の好ましい実施の形態を示す一部切欠正面図である。

【図2】本発明の好ましい実施の形態の使用状態を示す一部切欠正面図である。

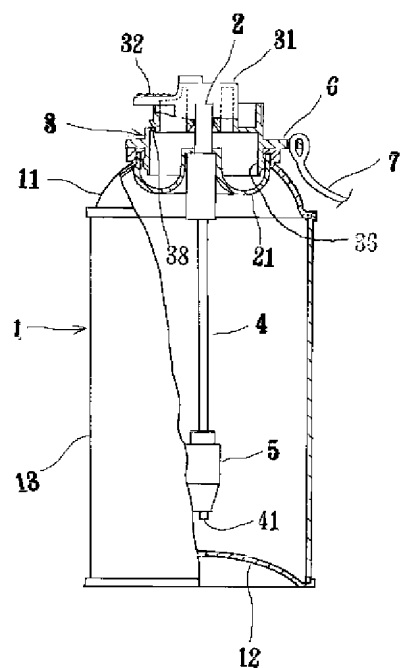
【図3】ノズルカバーの断面図である。

【図4】ノズルカバーの平面図である。

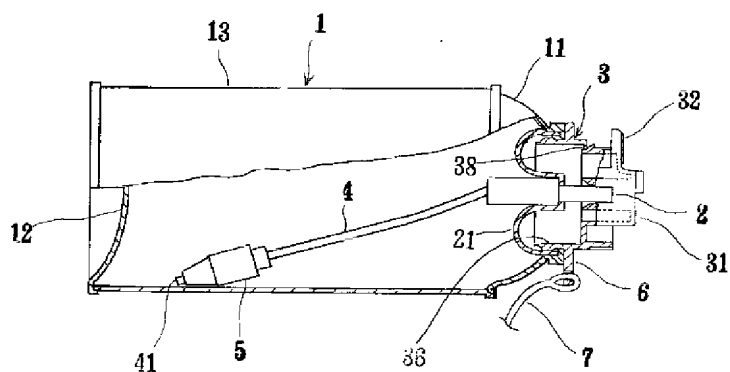
【符号の説明】

- 1 スプレー缶
- 11 頭部
- 12 缶底
- 13 缶壁
- 2 ノズル
- 3 ノズルカバー
- 31 押圧子
- 32 押圧片
- 38 ストッパ
- 4 可撓性吸込管
- 41 吸込口
- 5 重錘
- 6 紐連結部
- 7 引き紐

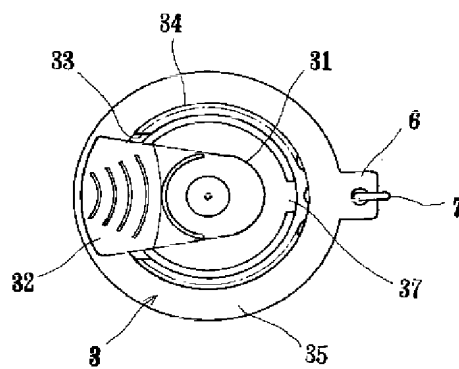
【図1】



【図2】



【図4】



【図3】

